

令和元年度 第3回松江市公共交通利用促進市民会議

1. 日時 令和2年2月10日（月） 13時30分～15時40分

2. 場所 松江市役所本館西棟5階 防災センター

3. 出席者

(1) 委員 内藤光子、村松利恵、三宅克正、小数賀安富、佐々木和子、家島滋、近藤達郎、丸山武、伊藤竜男、万代悦子、飯野公央、川島俊夫（代理）、梶谷彰宏、船越哲也、藤原誠、加村新治（代理）、山崎浩、新宮稔、鬼村まり子（代理）、森原透、大島貴志（代理）

(2) 事務局 歴史まちづくり部長 須山敏之
歴史まちづくり部次長（交通政策課長）比田誠
[歴史まちづくり部交通政策課]
交通企画係長 佐藤広樹、バス交通係長 石津宏明
バス交通係 松本専門企画員、坂本主任、吉原副主任

4. 内容

1 開会

2 飯野会長あいさつ

3 議事

- (1) 報告事項
- ア 新バス運行情報提供システムの導入について
 - イ 日ノ丸自動車「米子ー松江線」の減便計画について
 - ウ 令和元年度うちわプロジェクト実施結果について
 - エ 啓発活動への参加について
 - ・第10回バスまつりへの参加
 - ・大規模集客施設でのノーマイカーウィーク事前PR
 - ・第26回松江市環境フェスティバルへの参加
 - オ バス広告枠を利用した参加事業所名のPRについて
 - カ 松江市内路線バス小学生以下無料乗車イベント結果について
 - キ 第11回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果について

- (2) 協議事項
- ア バスの乗車マナー啓発について
 - イ 第11回松江市一斉ノーマイカーウィーク参加事業所表彰について

4 その他

- ア コミュニティバスの取り組みについて
 - ・「子ども見守り活動等」に関する協定締結（松江市、松江警察署）
 - ・パソコンやスマートフォンでの時刻・経路検索への対応
- イ 松江市内保育園・幼稚園等への公共交通啓発活動について
 - ・一畑電車製作の絵本寄贈
 - ・市民会議によるバス紙芝居の利用促進

- ウ 法吉地区における自家用有償運送について
- エ 日本モビリティマネジメント会議について
- オ 交通事業者からのお知らせ

5 閉会

5. 会議経過

別紙のとおり

6. 所管課

松江市歴史まちづくり部交通政策課

電話 0852-55-5661

1. 開会

【事務局：石津バス交通係長】

定刻になりましたので、令和元年度第3回松江市公共交通利用促進市民会議を開催いたします。本日の司会を務めます、歴史まちづくり部交通政策課バス交通係の石津宏明と申します。よろしくお願いいたします。

本日の会議の開催に先立ちまして、委員の皆様におきまして、異動等により2名の方が交代となっております。新しい委員の方々ですが、連合島根松江隠岐地域協議会から、島根県交運労協事務局長の丸山様、続いて、松江観光協会事務局長の伊藤様にご出席いただいておりますのでご紹介申し上げます。

続きまして、本日使用する資料の確認をお願いします。委員の皆様には事前に送付させていただきました資料をご持参いただいておりますでしょうか。

本日の使用する資料は、お手元にお配りした委員名簿及び席次表、また、事前にお送りした会議次第及び会議資料1から9まで、そして、本日配布いたしました資料がございます。

資料の不足がありましたらお知らせ願います。

なお、会議中に発言いただく場合は、お席にありますマイクを使用し、所属とお名前を述べていただいた上でお願いします。なお、マイクの使い方ですが、マイクの台座に銀色の部分があります。その銀色の部分を一度タッチしますと赤いランプが点灯してオンとなり、もう一度タッチするとオフになります。

以上、よろしくお願いいたします。

本日の会議の出席状況であります。お手元の名簿のとおりであり、過半数以上の委員にご出席いただいております、設置要綱第8条2項に定める定足数を満たしておりますのでご報告いたします。

それでは飯野会長よりご挨拶をいただいた後、議事進行をお願いいたします。飯野会長、よろしくお願いいたします。

2. 飯野会長あいさつ

【飯野会長】

皆さんこんにちは。今年は雪が降らないまま春になるのかなと油断しておりましたが、突然降ってきました。雪の降り始めは良いのですが、解けてから放射冷却で翌朝つるつるに凍るのが一番怖いですね。普段私は自転車で通勤しているんですが、こういう時には自転車で通勤できませんので、やはり頼りになるのがバスですね。やはりこういったことが起きると、当たり前なんですけどちゃんとバスが走っている、バスで行きたいところへ行くことができる、この社会インフラが整っている有り難さをつくづく感じます。そういう環境をできるだけ長くこのまちで持ち続けていくことが我々市民会議の一番大きな課題ですね。今日も皆さんと様々な議論をしていきたいと思いますが、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

3. 議事 会議の公開・非公開について

【飯野会長】

それでは議事を進めていきたいと思いますが、本日の会議の公開・非公開についてお尋ねし

ます。非公開とすべき事案はありますか。

【事務局：石津バス交通係長】

協議事項の 2 つ目にあります、令和元年度松江市一斉ノーマイカーウィーク参加事業所の表彰については、未確定情報であり、表彰候補の事業者を確認をしていくという議案になります。この未確定情報が公になることで、不当に市民及び事業者に混乱を生じさせる恐れがあるため、松江市情報公開条例第 30 条第 1 号により非公開にすべき案件と思われます。

【飯野会長】

ただいま事務局より、表彰事業所の選考を非公開で行ないたいとの提案がありましたが、異議はございませんでしょうか。

ありがとうございます。異議なしとのご賛同を頂きましたので、表彰事業所の選考部分に限っては非公開で進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。

3. 議事（1）報告事項 ア 新バス運行情報提供システムの導入について

【飯野会長】

それでは議事に移ります。まず、報告事項です。アの「新バス運行情報提供システムの導入について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

（資料 1 をもとに説明）

【飯野会長】

待ちに待った、バスロケーションシステムの導入ですね。ただいまの説明について、ご意見等ございましたらお願いします。

大型のディスプレイというのは、今使われているものをそのまま使うということですか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

表示機については、既存のバスロケーションシステムの路上機を活用して表示をさせるということで考えております。あと、JR 松江駅に設置する大型表示機については、新設することになります。

【飯野会長】

これから市民の皆さんに広報することになりますが、写真みたいなものがあると良いと思うのと、スマホの画面表示を出して市民の皆さんにイメージしやすいような形にしていただけると嬉しいと思います。

【家島委員】

このシステムは、スマホでも検索可能となっておりますが、私は今まで「バスナビタイム」というものを利用しているのですが、このシステムを使うためには、有料のアプリなどを購入する必要があるのですか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

検索にあたって、有料アプリを入れる必要はありません。

【伊藤委員】

このシステムは多言語表示が可能とありますが、何カ国語に対応しているのでしょうか。

【事務局：石津バス交通係長】

英語、中国語の簡体語と繁体語、韓国語に対応しております。

スマホの表示について補足ですが、独自のアプリケーションを使うのではなく、ウェブブラウザを使う形を予定しています。

【飯野会長】

広報にあたっては、利用者の側に立った情報の提供を心掛けて頂ければと思います。

【事務局：比田歴史まちづくり部次長】

会長からご指摘いただいた分かりやすい広報媒体につきましては、最終的に使い方とかを我々のところに合った形にしていきたいと考えていまして、導入の直前、あるいは3月末ぐらいにはなろうかと思いますが、順次広報にあげていきたいと考えております。

この資料の下半分にあるものは、今後の市報に掲載する予定のものをザクッと載せたものがあります。市報のスペースの関係でこれぐらいの記載にしかありませんが、導入されてからも加筆をする形でと考えておりますし、ウェブブラウザというのは、いわゆるインターネットホームページでありまして、システムを見るということは、ホームページを見に行くということです。ガラケーをお使いの方もいらっしゃるかと思いますが、そのガラケーでもページを見に行けるということになっておりまして、スマホでもガラケーでも対応できるということです。

【飯野会長】

システムが導入されましたら、いろいろな地区で乗り方教室など開かれると思いますが、ここではシステムの使い方についてもやっていただきたいですし、地区で説明会の開催を希望されるところもあるかも知れませんが、そのことにも対応して頂ければと思います。

これに関して、他の委員の皆さん、いかがでしょうか。

【新宮委員】

七類港などを結ぶシャトルバスについては表示されるのでしょうか。また、飛行場からのバスについても表示をされるのでしょうか。

【梶谷委員】

一畑バスの梶谷です。隠岐汽船の接続バスについては、対象路線となっておりませんが、バスの位置情報に関しては当社で把握をしていますので、今までみたいに「…だろう」ということはないと思いますのでご承知おきください。

【飯野会長】

おそらく利用者さんからの問合せもあるかと思うので、そのときには事業者間で連携を密に取って頂ければと思います。よろしくお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは一日も早く導入されることを期待しております。

3. 議事 (1) 報告事項 イ 日ノ丸自動車「米子－松江線」の減便計画について

【飯野会長】

続きまして、報告事項イの「日ノ丸自動車 米子－松江線 の減便計画について」、説明をお願いします。

【事務局：松本】

(資料2)をもとに説明)

【飯野会長】

ありがとうございます。このことは全国的に問題が起きていることですが、我々のまちでも起きているということです。このことについて、日ノ丸自動車さんから何か補足などありましたらお願いできますか。

【船越委員】

日ノ丸自動車の船越です。ご利用の皆さんには申し訳ありませんが、減便の申請は2ヶ月前にすれば良いのですが、廃止となると半年以上前に申請をしないと受け付けてもらえないために申請させていただいたところです。今後乗務員が入ることになればまた変更の可能性があります、とりあえず今はこういう申請を出させて頂いたということでご理解をいただきたいと思います。

【飯野会長】

一番気になるのは、減便になった場合に、生活の足にしておられる方がいらっしゃるわけですが、そういう方に対するフォローというのは現在どのようになっているのでしょうか。

【事務局：比田歴史まちづくり部次長】

安来市と米子市における状況については詳細に把握しておりませんので、市域をまたがって、松江管内の話で申し上げますと、この路線の他に代替手段がないであろう東出雲町内、とりわけ意東地区の皆さんが一番大きな影響を受けるのではないかと推測しております。それから、

このエリアについては、もともとＪＲが並行して走っているにも関わらず一定の利用があるということで、その内訳を見ますと、障がいをお持ちの方が非常にたくさん利用されているという実態を把握しております。沿線住民すべてに影響があるわけですが、なかでも意東地区の皆さん、あるいは障がいをお持ちで一般の交通手段が使いづらい方々に焦点をあて、完全完璧には難しいと思いますが、私共で採り得るかぎりの代替手段を今後確保していきたいと考えております。

【飯野会長】

東出雲町、意東地区の皆さんに対するアナウンスはすでにされているのでしょうか。

【事務局：比田歴史まちづくり部次長】

市内の中心部や、松江駅から黒田町へかけての路線は、一畑バスや市営バスも多く走っておりますので、減便の影響が無いとは申しませんが、ピンポイントでの影響は少ないと思っております。東出雲町管内、竹矢地区、津田地区のあたりが影響の大きい沿線と思われます。これらの地区におきましては、町内会や自治会連合会、公民館を通じて現在周知を図っているとともに、これに加えて東出雲町では地域協議会へも出席しまして、各エリア、各種団体の代表者の皆さまに説明をすでに行っているところでありまして、先ほど申し上げました障がいをお持ちの方というのが、授産施設等に通われている方が多かったですので、そうしたところへは、来週に事業所ごとで個別にご説明にあがる予定としております。

【飯野会長】

ぜひ、そうしたところへのフォローをお願いします。

皆さん方からご意見があればお願いします。このことは決して対岸の火事ではないというのが現実だと思います。さみしいですね、日ノ丸自動車さんがいなくなってしまうのは。復活を期待しております。

3. 議事（1）報告事項 ウ 令和元年度うちわプロジェクト実施結果について

【飯野会長】

続きまして、報告事項ウの「令和元年度うちわプロジェクト実施結果について」、ご説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

（資料 3）をもとに説明）

【飯野会長】

ありがとうございました。このことについて、何かご意見、あるいは、「今年の夏はこういったことをしよう」といったことでもあればお願いします。

9月9日で終わったということは、この段階でうちわが無くなったということですか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

そのとおりです。

【飯野会長】

残暑が厳しかったりしますから、うちわがもう少しあれば良かったかなと思います。事業者のほうでは、このうちわに関して乗客から意見とか反応とかはなかったですか。

【藤原委員】

交通局ではお客さんから特にどうこうということは無かったですが、バス自体が年数をかなり重ねていまして冷房機器も古く、車中も暑かったので助かっている状況でした。

【飯野会長】

ちょっとした事なんですけどね。気持ちよく松江の観光をして欲しいということで取り組んでいますが、これが定着していくと良いなと思います。今年もこの取り組みはするんですよね。

【事務局：佐藤交通企画係長】

はい。

3. 議事（1）報告事項 エ 啓発活動への参加について

【飯野会長】

次は啓発活動ですね。報告事項のエ、「啓発活動への参加について」、ご説明をお願いします。

【事務局：吉原】

（資料4）をもとに説明）

【飯野会長】

ありがとうございました。この啓発活動に関しまして、皆さんからご意見がありましたらお願いします。この啓発活動にはいろいろな方に御協力いただいています。事業者の皆さんだけでなく、市役所の皆さん、いろんな皆さんが市民会議の枠組みのなかで協力しながら啓発活動をして、バスを盛り上げていこうという主旨のなかで活動してくれている、とても大事な活動だと思っています。

事務局では今年取り組むなかで、特に印象に残っているものは何かありますか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

今年度のバスまつりにつきましては、台風もありましたが、おかげさまで多くのお客さんに来ていただきました。また、バスの乗車マナーについてのアンケートは、記入式ではなくシールで貼る方式としたことで協力が得やすかったのかなと思います。

【飯野会長】

バスのマナーについては、また後で話に出てきますよね。

【事務局：佐藤交通企画係長】

協議事項にあげておりますが、バスのマナーのアンケートについては、後ほどご報告と協議をさせていただきたいと思います。

【飯野会長】

今回のバスまつりには、私の教え子が子どもを連れて参加してくれたりとか、確実に定着してきているなど感じておりまして、市民の一つの年中行事といえますか、楽しみの一つとなってきたことがよく分かりました。事業者の皆さんや多くの皆さんが携わってくれたので、良いものができたなと思います。

皆さん、今日はやけに静かですね。

【佐々木委員】

いろいろと高齢者の交通事故を報道しておりまして、私は高齢者なものですから、そろそろ免許を返納すべきかなと思いながら、半年ほど前から返納までの助走としてバスに乗ってみました。そのときに一番困ったのは、目的地に行くためにはどこ行きに乗っていけば良いのか、そのバスがどこを通るのか、松江駅で路線が書いてある物を見るのですが、私は背が低いものですから見ているうちにクラクラとなりながら、時間を要してやっと目的地に行くような格好でした。そしたら、時刻表をもらいまして、それを見て調べながらバスを待つのですが、予定の時間が来てもバスが来なくて、「もうそろそろ来るだろう」と思いながら待つ、そういうことを半年ほどやってきました。

私の周りには免許を返納しようと考えている方がたくさんいらっしゃるのですが、バスにどうやって乗って良いか分からない、目的地に行くのもどうして良いか分からない、これが一番の問題だと思います。先ほど話されましたバスロケーションシステムを私も是非利用したいなと思いまして、導入に大賛成です。ですから、高齢者で免許証を返納した者を対象として、バスまつりか何か、そういう場を利用して、別にそんな大層なスペースをとってもらわなくても、「返納したい方、どうぞご相談ください」という場を設けるなどの提案をしていただけると良いです。運転手さん親切なんですよ、声掛けをしていただいて、私たちはバスに乗って利用しないといけないと思っていますが、ただ、どこ行きに乗って良いの分からない、南回りだ北回りだとあって、乗っているうちに見かけない場所を通ったために慌ててしまって降りた、という話が耳に入っておりますので、大変かと思いますが、高齢者の意見を取り上げて頂きたいと思います。

【飯野会長】

とても大事な指摘で、目からウロコで、考えたらそうなんですよね。この問題はこれまでずっと議論してきましたけど、具体的に実際にどう対応していくかについて実は、まったくしてこなかったんですよね。是非、来年バスまつりなどで、小さい子を連れた高齢者の方も随分と来ておられましたので、免許の返納を考えている方に対して、何かしらブースを作って相談に

応じるとかあっても良いですよ。

今日は松江警察署からも来ておられましたね。免許の返納手続きをされるときに、バスロケーションシステムについてのご案内だとか、チラシの配布だとかは警察にお願いできるものなんでしょうか。すぐここで答えることは難しいかも知れませんが。

【大島代理（松江警察署）】

会長がおっしゃっていたように、各機関が個別にやるのではなく、周りをいっぱい巻き込んで進めるほうが周知も早くなるかと思います。こちらとしても協力できるところはご協力していきたいと考えておりますので、各事業所と相談しながら、今後どうやっていくべきかを検討していければと思っております。

【飯野会長】

是非、よろしくお願いします。

【村松委員】

私はなごやか会のお手伝いをしておりまして、そのときに免許の返納をしたとしてもバス利用に移行できない、どこへ行くにも何に乗って良いのか分からないという声をよく聞きます。例えばなごやか寄り合いでバスの乗り方教室として来ていただくとか、そういうことも可能なのかなとか、過去に一度、私が勤めている児童クラブにも来ていただいたことがあるんですけど、その時には、子どもが対象だったので、どこそこに行きたい場合にはどのバスに乗ったら良いかという話では全く無かったのですが、高齢者だった場合には、「私は今度どこそこの病院に行きたいです」という設定をして、「何のバスにどこから乗れますよ」とか、「何時に出るのだったら、時刻表にあるこのバスに乗ったら良いですよ」とか、どうしたら良いのかのレクチャーなどをしていかないと、バス利用に移行していかないのではないかという感じがすごくしています。高齢者が使いやすく乗れるようなことを具体的に何か対策しなければならないんじゃないかと感じています。

【事務局：吉原】

先ほどの話は乗り方教室の話だったかと思いますが、もちろんそうしたことも対応可能だと思っておりますし、今、宍道地区におきましてバスの事業所さんと行政と社協さんのほうで、試行段階ではありますが、「マイ時刻表」という、その人専用の時刻表を作るという構想を企画しているところであります。イメージとしては、週に1回病院に行きたいから、どこから乗ってどこで降りて、何時の便に乗るのかということを冷蔵庫などに貼っていつでも見ていただける、そんなイメージのものが作れるのではないかと考えております。

【飯野会長】

せっくなので、バスロケーションシステムが導入されたときには、村松さんと一緒になごやか寄り合いの場に出かけて、実際にシステムで検索してみましょ、実際にバスに乗ってみましょ。2時間くらいかけて検索と同時に一緒にバスに乗って。そういう体験をするのはす

ごく良いと思いますね。是非、考えましょう。そういうのも啓発活動になると思います。
ほかにご意見はいかがでしょうか。

3. 議事（1）報告事項 オ バス広告枠を利用した参加事業所名の PR について

【飯野会長】

それでは次に移りたいと思います。次は報告事項オの「バス広告枠を利用した参加事業所名の PR について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

（資料 5）をもとに説明）

【飯野会長】

ありがとうございました。これまで参加事業所には積極的にご協力いただいていたわけですが、それに対して謝意を表すということがなかなかできていなかったわけですが、今回こういう形で少しでも貢献に報いることができればということで始めたプロジェクトです。これに関して委員の皆さんからご意見がありましたらどうぞ。

【家島委員】

この資料の取り組み状況のところに広告の写真がありますが、この広告の大きさは A4 版ですか、それとももうちょっと大きいですか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

A3 版よりひとつ少しサイズが大きいものです。

【家島委員】

と申しますのは、この広告はバスの揺れる車内で見えるものですよね。こうして見ますと事業所名が列記されているんですが、私の当初のイメージとしては、経費の問題があるかも知れませんが、例えば参加していただいた事業所に対して 1 週間あるいは 2 週間、1 事業所につき 1 枚、あるいは二分の一くらいのスペースを提供すれば多少 PR 効果が上がると思うんですね。これだけの文字ばかりがズラズラ並んでいるのを見ますと、よほど場所が恵まれていないと、あるいは目の前に立ってじっと見るのでなければ PR 効果としては弱いのではないかと思います。経費の問題もあると思いますが、せめて二分の一ページくらいを各事業所に割り振って希望されるところに出す、あるいは格安な負担をしていただくとか、メリットがもう少しあるほうが喜ばれるのではないかなと思いました。

【飯野会長】

このあたりは難しいところではあるかと思いますが、とても大事なご指摘だと思います。正直、私もバスに乗っても、背伸びをしながら見ないと見えないということがありましたので、やはり、こちらのこともきちんと対応するという事で、事務局、事業者の皆さん、それから参

加する企業の皆さんがどう望んでいるか、ヒアリングをして頂いて対応するという事で考えていきましょう。

PR 活動についてはこれでよろしいでしょうか。

3. 議事(1) 報告事項 カ 松江市内路線バス小学生以下無料乗車イベント結果について

【飯野会長】

それでは続きまして、協議事項カの「松江市内路線バス小学生以下無料乗車イベント結果について」、事務局からの説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料6)をもとに説明)

【飯野会長】

ありがとうございます。これにつきまして、皆さんからご意見がありましたらお願いします。

実際にやる前は、子ども同士だけで乗ったりして何かあったらどうしようかと、いろいろ心配はあったわけですけど、ふたを開けてみると子ども達もきちっとしっかりと対応していたところ、うれしい限りですね。引き続きこれも継続という形でいければと思います。

【内藤委員】

そういえば、子どもが小学生の頃こんなのを持って帰っていたことを思い出しました。でも、「そんなイベントがあるんだなあ」という感じでいるうちに結局夏休みも終わってしまったりして、もっと学校でこんな面白いことがあるんだよということを先生方に言ってもらったことがあったら、もっと乗るのではないのかなと思いました。単にお便りだけを持って帰っただけでは、お母さん方もサッといってしまうんじゃないか、という感想です。

【飯野会長】

ありがとうございます。やっぱり保護者の皆さんにどう感じ取ってもらうかは非常に大事なことですよね。是非、それも学校と協議しながら進めていきましょう。

3. 議事(1) 報告事項 キ 第11回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果について

【飯野会長】

それでは続いて協議事項キ、「第11回松江市一斉ノーマイカーウィークの実施結果について」、事務局の説明をお願いします。

【事務局：坂本】

(資料7)をもとに説明)

【飯野会長】

ありがとうございました。なかなか気象というのは読めないものですね。渋滞長調査はピン

ポイントでやっているものですから、予想に反するデータが時々あがってくるということです。そういうことも含めまして継続的にきちんとデータを取っていくことがとても大事になってきます。このことにつきまして皆さんの方からご意見がありましたらお願いします。

【飯野会長】

これに関しまして、本当に多くの関係する皆さまのご協力で行われております。ノーマイカーウィークは今回で11回目ということでありまして、渋滞長調査などいろいろやってきておりますが、実は毎年こんなことができていくまちはおそらくここ松江だけだと思います。結構大変な作業なんです。ですので、このことをとってみても、本当に皆さんが「公共交通をなんとかしよう」とか、「このまちを暮らしやすくするためにみんなで協力し合おう」というのが非常によく表れているなと思います。関係する皆さんに感謝申し上げたいと思います。

3. 議事 (2) 協議事項 ア バスの乗車マナー啓発について

【飯野会長】

ここから協議事項に入りたいと思います。それではまず、アの「バスの乗車マナー啓発について」、説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料8をもとに説明)

【飯野会長】

これにつきまして、皆さんのご意見をお願いします。ここからは協議事項ですので、是非いろんな意見を出していただければと思います。

いくつかやり方はあるんですが、呼びかけは、バス事業者が呼びかけるのではなくて、あくまでも市民会議が呼びかけるというところが大きな点です。事業者名で呼びかけますと、いろんな意見が直接事業者に向きます。そういうことへの対応であるとか、事業者ごとに対応が異なるのは混乱の原因となる可能性がありますので、松江市としては、市民会議が提唱したルールで皆さんバスに乗りましょうということで市民に呼びかける方法を探りたいなというのが一つのポイントになります。

【佐々木委員】

バスを利用するようになってから半年が経ちます。運転手さんは大変親切です。曲がる時には「右に曲がります」とか「左に曲がります」とかきちんとおっしゃっていただいて、私たちはそれを聞いて「あ、曲がるんだな」と思いますし、「どうぞ、まだ座っておいてください」とか、「バスが停まってからお立ちください」とか、きちっとやっておられて、素晴らしい運転手さん方だなと思ってます。気を付けなければならないのは、乗車している私たちなんです。私たちが本当に気を付けながら、運転手さんのおっしゃっていることを聞けば良いのですが、手すりに手をかけて半分腰を上げたような格好をする方をたくさん見かけております。せっかく運転手さんがきちんとおっしゃって下さるのに、それをきちんと聞いて行動すれば、車内事故

というのは無いと思いますけど、やはり事故があるということは乗っている者がもっと気を付けなければいけないなと思います。会長がおっしゃったように、市民会議でもっと前面に出したいなと思い、会長さんのお話に大賛成です。

【飯野会長】

あえて言うならば、「何故か」ということにちゃんと答える必要があると思いますね。なかには、ゆっくり降りていたのでは他のお客さんに迷惑がかかるんじゃないかと思って気を遣って行動をされるわけです。でも、そうじゃないんです、と。こういう理由だからこうして欲しいんですと、理由を説明して、車内事故防止のため必要なだと分かってもらうことがとても大事なことです、その説明で明らかになれば皆さんも腑に落ちて行動してくれるのではないかと。それが大事なことなだと思います。

【家島委員】

私は松江南高校のそばを通る八重垣線のバスをよく使わせてもらうので、南高生の皆さんとは特に下校時に一緒になります。気になりますのが、空いているからといって優先席のほうに固まって座って、後ろの行きにくい席が空いているということがよくあります。なぜ優先席が前の方にあるのか、出入り口に近いところにあるのか、ちょっと考えてみれば分かるのでしょうが、友達と一緒にいて気が回らなかったのか、おしゃべりをしながらパッと優先席に座ってしまうことが多いんです。これは私たちも何だか言いにくい。後ろが空いているじゃないかと言われるところもあるので。優先席の意味とか、何故出入り口の近くにあるのか、まず基本的なことを考えて、若い人は後ろの席とか運転席の後ろとか高齢者が座りにくい席に座るといったところを、高校のPTAとか先生方とか啓発をピンポイントでお願いできたらと思います。

自転車のマナーも一緒ですよ。自転車は歩道を走ることも許されていますけど、高齢者が歩いているところに平気な顔をして突っ込んで来る高校生もいて、夕方の暗くなったときにもスピードを落とさないで走って来るので怖いなと思うことがあります。先ほども高齢者の会の方もおっしゃっていましたが、乗っている者もきちんとしないといけませんが、周囲の者も気配りができると良いなと思います。特に高校生ならば、何かの機会にPTAあるいは学校で呼びかけることができたと思います。

【須山歴史まちづくり部長】

先ほどはマナーのお話でしたが、当初この取組みもやっていくと安全対策とマナーとがごちゃごちゃになっていまして、まずは安全対策が一番だから、これを皆さんに周知していこうとしっかりやっていくと、その先にはマナーに行き着いてしまうんだなと思ったところ。よって今度は、安全対策として進めていきながら付随してマナーの話もしていこうという考えです。本当は座って欲しいのだけど、そこにはまたルールやマナーのことがあると。また、体格がある方が2人掛けの席に座ると奥まで進めなくて通路側に座ってしまうという光景をよく目にします。みんなに座ってもらうためには席を詰めてもらわないといけないのですが、手前にいる人に詰めてと言えない、そういうところを安全対策として進めていくなかでマナーの問題が出てくると思います。まずは安全対策を主に出していましてそのなかで乗車マナー啓発に

も繋げていきたいと考えております。

【内藤委員】

こうして一生懸命考えると「ああ、そうなんだな」となるんですけど、当事者の高校生や乗客にはなかなか伝わらないと思うのです。バスまつりなどで来てくれた人には伝わるんだけど、そうでない人にはどうだろうか。高校生が市報を読むかなと思うと、テレビのCMで流すなどができればどうかなと思います。

【飯野会長】

ありがとうございました。どういう宣伝媒体を使うと一番効果的なのか。難しいところですね。先ほど、須山部長が安全対策とマナーについてお話されましたが、私としては安全対策こそが最大のマナーだと思います。家島委員の話も突き詰めていくと、何かあったときにバスからすぐに降りられる、その際には動きがゆっくりしている人が最初に降りられる。これが実は一番安全なんですね。安全を突き詰めていくとそれがとても良いマナーに繋がるんだという発想でも良いのかなと思ひまして、是非そういった観点で進めていきましょう。

他にはよろしいでしょうか。基本的にこの取り組みは進めていくということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。

3. 議事(2) 協議事項 イ 第11回松江市一斉ノーマイカーウィーク参加事業所表彰について
《非公開》

4. その他 ア コミュニティバスの取り組みについて

【飯野会長】

それでは4の「その他」に移っていきます。その他のア「コミュニティバスの取り組みについて」、説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料10)をもとに説明)

【飯野会長】

これにつきましていかがでしょうか。ようやくこうした検索サイトにもコミュニティバスが出てくるようになりました。これから「M a a s (マース)」という時代になりますので、こうした検索サイトにきちんとデータが載っていませんと、ウェブ上ではそこには何も無いという形になりますので、ウェブサイトに乗るとするのはとても大事であります。

4. その他 イ 松江市内保育園・幼稚園等への公共交通啓発活動について

【飯野会長】

それでは続いて、その他のイ、「松江市内保育園・幼稚園等への公共交通啓発活動について」、説明をお願いします。

【山崎委員】

一畑電車の山崎です。弊社では昨年 10 月に「ばたでんくねくねする」という名のオリジナルの絵本を製作しました。3 歳児から 5 歳児の小さいお子さんを対象とした絵本でありまして、物語の内容としましては、いつも硬いまっすぐなレールの上を走っている「ばたでん」という電車が、ある日、青虫くんに逢いまして、くねくねと自由奔放に動いている青虫くんを見て、自分も一旦レールから外れて青虫くんみたいに自由にやってみたいなと思い、仏様にお願いしましてレールから外れてくねくねと自由に動くという生活が送れるようになりました。そうしておりましたら、電車を使うまちの人たちから、「いつもの電車が来てくれない」とか「通勤や通学で乗れなくて困るな」といった声が聞こえてくるようになりまして、ばたでんは、やはり自分は任せられた仕事をきちんとしなくちゃいけないと気が付いて、改めて仏様にお願いをしまして元の生活に戻る。というあらすじになっております。弊社の沿線にある幼稚園や保育園に対し、一畑電車に限らず公共交通に目を向けて頂きたいという思いから、昨年 12 月 25 日に松江と出雲の市長さんのところへ訪問しまして、絵本を贈呈いたしました。その絵本を両市を通じて市内の幼稚園と保育園に一冊ずつ寄贈させていただいたところです。この場には一冊だけですが見本としてお持ちいたしました。小さなお子さんやお孫さんに見せたいと思っていただければ、松江しんじ湖温泉駅でも販売しておりますので、お買い求めいただきますようお願いいたします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料 11 をもとに説明)

【飯野会長】

まずは、一畑電車の絵本と紙芝居のお知らせでした。これにつきまして皆さんの方からご意見がありましたらお願いします。ところで、一畑電車さんの絵本は、今井書店にも置いてあるのでしょうか。

【山崎委員】

書店には置いておりません。

【飯野会長】

では、どうやったら買えるのですか。

【山崎委員】

弊社にお越しいただくか、松江しんじ湖温泉駅の売店にても販売しております。

【飯野会長】

絵本のことについては、皆さんにも広めて頂きたいと思います。

【村松委員】

紙芝居素材の提供というのは、どういう意味なのでしょう。紙芝居のセットを下さるというのではなくて、データをダウンロードして自分のところで打ち出すということでしょうか。それとも紙芝居を下さるということでしょうか。

【事務局：佐藤交通企画係長】

紙芝居は手作りのもので、完成品をそれぞれお配りするというのが難しいところです。ですが、絵を貼る台紙はたくさん買ってあります。絵を台紙に全部貼ったりというのがなかなか手間でございまして、画像データをメールなどでお送りしますので、そのデータをそれぞれの保育園や幼稚園で印刷していただき、提供した台紙に貼ってお使いいただけますと我々もやりやすいと思っております。実は、先週のところで松江市が運営する保育園の所長さん方にもご説明に入っておりまして、先ほどのような説明をしております。

【飯野会長】

絵と読む台詞の部分はデータ化しておりますので、それを自分のところで印刷して台紙に貼ってお使いくださいということです。データ化するところまではこちらで責任を持って行ないますので、よろしくお願いします。

【村松委員】

児童クラブでも読み聞かせや紙芝居をする時間が必ずありますので、そういうところにも周知されたら良いと思います。

4. その他 ウ 法吉地区における自家用有償運送について

【飯野会長】

それでは続きまして、その他のウ、「法吉地区における自家用有償運送について」、説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料 12)をもとに説明)

【飯野会長】

これについて、ご意見ご質問等はございますか。

【丸山委員】

デマンド運行の利用料金について、1日100円の運賃は11時30分から14時の時間帯だけに設定されていますが、それは何故ですか。これだとまず、100円を料金としていただくという理由付けが非常に分かりにくくなっていると思います。例えば運行するにあたって維持することが難しいということであれば、運行時間帯すべてで料金をいただくべきだと思います。何か明確な理由があれば教えて欲しいです。

【事務局：佐藤交通企画係長】

運賃は運行している社会福祉法人みずうみさんが設定されているのですが、我々が伺っている話では、みずうみさんとしては、独自に広告収入などを得たり寄付金を募って、ある程度持続的な運行ができる水準にまできたと考えておられます。そうしたなかで、利用者から運賃をいただこうと思ったときに、利用が多いのが午前中だったり買い物サポートだったりするのですが、このあたりは広告収入や寄付金で賄えると。そして午後からは利用が若干少なくなってくるということで、その部分では運賃をいただこうと考えたと伺っております。

【飯野会長】

なかなか難しいですね。運行する事業者がこの金額で良いということで考えておられれば、それに対して我々がどうこうとは言いにくいものがあります。丸山委員さんが言われるように、何故なのかというのは私も思いますが、もし気になるようでしたら事務局でみずうみさんから詳しく聞いておいていただきたいと思います。

そのほか、皆さんからありますでしょうか。

4. その他 エ 日本モビリティマネジメント会議について

【飯野会長】

それでは、その他のエ、「日本モビリティマネジメント会議について」、説明をお願いします。

【事務局：佐藤交通企画係長】

(資料 13)をもとに説明)

【飯野会長】

私もこの学会の会員であります。日本全国には松江市の市民会議のように、自治体、コンサルタント会社、住民団体の様々な方が日本モビリティマネジメント会議を通じて、実践の報告であったり、海外の事例紹介であったり、様々なモビリティに関する情報交換ができる、日本でも最も大きいモビリティに関する会議の一つです。それがこのたび松江市で開催されるということです。ほかの地域でも同じような問題を抱えている方が多くいらっしゃると思いますが、そのなかでも工夫しながら取り組んでおられますので、この会議には是非とも皆さんにもご参加いただければと思います。

4. その他 オ 交通事業者からのお知らせ

【飯野会長】

それでは続きまして、その他のオとしまして、交通事業者さんからのお知らせがあればお願いします。

【加村代理（JR 西日本）】

ただいまチラシをお配りしました。今年の 5 月から運転いたします「ウエストエクスプレス

「銀河」についてご紹介させていただきます。この列車は2017年から運行している「トワイライトエクスプレス瑞風」のような、高価格でパッケージの旅行を提供する列車ではなく、カジュアルに、自由に行程を組んで頂くタイプの列車として運行するものです。一方で、地域の皆さまと一緒に、西日本の魅力の発信と地域の活性化を目的に導入するという意味では、「瑞風」と同じ列車となります。5月8日から京都発出雲市行きの夜行特急列車として運行を開始し、以降9月までは関西と山陰を結び、運行頻度は週2回を計画しております。上り列車も下り列車もともに、松江駅、玉造温泉駅、宍道駅にも停車いたします。初期の運行が山陰地方ということで、米子支社としても大変嬉しく思っています。地域の皆さまの公共交通としての役割はもちろん、山陰からの集客が米子支社の重要な役割と考えております。高級感のある周遊列車を楽しめる「瑞風」、と比べてカジュアルに移動が楽しめる「銀河」、山陰にお越しただいてから山陰の魅力をお楽しみいただける「天地（あめつち）」の3年間で観光列車を揃えてまいりました。「銀河」の運行においては、山陰の魅力を発信してまいりますので、自治体の皆さまにもおもてなし等ご協力をいただければと思っております。最後に、関西方面のご旅行にも使えますので、「やくも」と一緒に、「瑞風」、「銀河」のほうも是非ご利用頂きますようお願いいたします。

【飯野会長】

ちょっと気になりますね。皆さん、これについて質問はありませんか。
ほかに、交通局さん、一畑バスさん、ございませんか。はい、一畑バスさん。

【梶谷委員】

さきほどの議事の中にありましたが、バスの運行情報システムについて、弊社と交通局さんで導入するのですが、停留所の名前が一部だけ両社で違っておまして、その名称を統一させていただきますので、4月1日からは停留所の名称が変わるということであります。ダイヤ改正等は特にありませんのでご承知ください。

【飯野会長】

ほかに皆さんのほうからお知らせはありませんか。

4. その他 意見交換等

【飯野会長】

そうしますと、本日用意された議事はすべて終了ということになりますが、ご承知のとおり、この3月をもちまして委員の任期が満了となります。本日は今年度最後の市民会議となりましたので、せっかくですので委員の皆さんから一言ずつご意見やご感想をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

【内藤委員】

2年間でしたが、普段は自家用車移動で、バスをほとんど乗らなかったのですが、せっかくこれからバスに乗ってみようになったりとか、バスの運転手さんのお話を聞いていろいろご苦

労が分かるようになったり、考え方がすごく変わってきたなと思います。今、自分は元気だから運転は平気だけど、歳をとっていずれバスに乗ることになったときに、バスがないと困るなとだんだん思うようになりました。とても良い勉強ができて、これからいろいろな友達に教えてあげようと思います。ありがとうございました。

【村松委員】

いろいろとバスの勉強をさせていただいて、実際に近所の方や周りの方に話を聞くと、高齢者の方が「足」に困っているというのを実感する機会がたくさんあって、停留所まで歩いて行ける人は良いのですが、そこまで歩くのも大変だったり、買い物が困るという意見をいただいていたので、実際にこうやって取り組んでいる事業者があるだとか、すごく勉強になりました。自分は八雲台に住んでいますが、そこにも同じようなことを言われる方がおられるので、何かできないかと考えるきっかけになりました。私の実家の八雲町ではコミュニティバスが走っているのですが、停留所が遠かったり便数が少なかったりで使いづらいんですけど、ほかに足がなくて困っているというのをどうしたら良いのかと考えていきたいなと思えるようになりましたので、皆さんのお知恵をお借りしながら何か地域として取り組んでいけることはないかなと考えてみたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

【三宅委員】

2年間いろいろな話を伺いまして、バスの乗客の主力は定期購入者と高齢者だと思いますが、今松江市で1年の間に生まれる子どもは1,500人です。したがってこの子たちが高校生とかになっていく10数年後は遥かに多くの乗客を失っていくことになります。かつては儲かる路線が儲からない路線をカバーしていた時代がありました。もっと昔は観光路線で儲けたのを路線バスに入れる経営手法もありましたが、今はもうそれがなかなかできなくなって、融通が利かなくなっちゃうと。今日はJRさんから出席されてますが、山陰の路線が走っているのは山陽の路線や新幹線のおかげだという鉄道での理屈が、バス会社の内部ではなくなってしまうと、今の人口減少社会ではどうにもならなくなってしまうと非常に強く感じています。例えば美保関で3億円を払ってバスを走らせるというのは、誰が聞いても無駄でしょということになりかねない。そうすると、自治会輸送であるとか、新たなモビリティを考えていかなければ全部破綻していくように感じます。松江市の人口を今の数で確保していこうと思えばそういう方向でしか考えられないと、2年間お話を聞きながらそのように思いました。ですから事業者の皆さん、是非とも儲けられるところでしっかり儲けてできるだけ長く不採算路線を継続していただきたいと思います。

【小數賀委員】

私はこの会議のほか、地域公共交通会議というものに出ています。この会議に参加するようになってからは努めてバスを利用するように心がけておりますが、今日は残念ながら雨の予報でした。時刻表を見ても都合の良いバスが見つけれなかったのもので車で来ましたが、常日頃バスの利用を心がけております。趣味としてはウォーキングが大好きでして、バスや列車に乗って遠方まで行って帰り道を歩くとか、またその反対もあるのですが、そのような形でバス

などを利用しています。

【佐々木委員】

私は今月で免許を返納いたします。返納すれば本当に公共交通機関を利用しなければならないのですが、半年助走してみましたら、なんとか利用できるのではないかと思います。こうしてこの会議で私たち高齢者の意見が事務局や事業者の方に吸い上げて頂いていることにとっても感謝をしております。もうすぐバスロケーションシステムが入りますから、事務局にお願いして私のスマホで使えるようにお願いしなければならないと思います。そして、新しい観光列車の「銀河」に私も乗ってみたいです。この期間中に乗りますのでよろしくお願いします。本当にありがとうございました。

【飯野会長】

それでは、家島委員さんで最後としたいと思います。

【家島委員】

私も後任がなかなか決まらなくて随分と長い間お付き合いいただいておりますが、実質的には古志原の自治会連合会の事務局長をしている関係で参加しています。ここの会議で話された内容を自治会連合会を通して住民の皆さんに伝えていきたいと思ひますし、本当に古志原の地区もみずうみさんがやっておられるような取り組みをやっていかなければならないのではないかなと思ひておりますので、地区の老人会の皆さん方とも情報共有しながら、できるだけ自分たちでできることは自分でしないといけないなと思ひながら、自助の部分をしっかりやっていきたいと思ひます。ありがとうございました。

【飯野会長】

いろいろな皆さんのお力添えを頂きながらこの市民会議の会長というのを足掛け 12 年間努めてきて、今回でもって私も退任ということになりました。この市民会議ができる前も含めると、16 年間松江市の公共交通に関わってきました。その間思い出してもいろいろありました。こうして市民の皆さん、事業者の皆さん、さまざまな関係の皆さんがこうして集まる市民会議を作るまでのところも山あり谷ありでした。でもそのひとつひとつがこうした今の取り組みの形をつくるまでの産みの苦しみだったのかなと思ひます。とても良い経験をさせてもらいましたし、こうした会議を作って市民が主体となってまちを作っていくことができるところが、松江というまちの可能性なのかなと思ひます。委員長としては役を終えますが、バス利用者としては残りますし、定年になるまでは松江に居ようと思ひますので、皆さんとともに松江の公共交通を良くしていくための活動をしていきます。引き続きよろしくお願いします。改めて皆さんに感謝を申し上げてごあいさつとさせていただきます。

5. 閉会

【事務局：石津バス交通係長】

飯野会長には、スムーズな議事進行をいただきありがとうございました。

それでは、閉会に先立ちまして須山歴史まちづくり部長より皆様にご挨拶申し上げます。

【須山歴史まちづくり部長】

皆さん本日は本当にありがとうございました。今日が皆さんの委員任期の最後の会となりました。飯野会長と浅田副会長には、この市民会議ができてから12年間、いろんな意見を取りまとめていただいたところです。松江市の交通に関する計画についてもお二人のおかげでできたと思っております。このたびの会で任期を終えられる方々につきましても、今後も今公共交通がどうなっているのかを地元や会社やいろいろなところで、仲間が集まる場でお話いただければと思っています。松江や全国で交通問題がどういう状況にあるのか、こうして集まって話をするなかでお分かりいただけたのではないかと思います。

今世界的に問題になっている新型コロナウイルスのことについても、なんとか食い止めたいと思っているところですが予断を許さない状況であります。このことは交通にあまり関係がないようにも思われがちですが、米子空港に発着しておりました中国便などが運休してしまうなど、交通にも大きな影響を与えています。また、今横浜に停泊しているクルーズ船にもあるように、クルーズ事業にも影響が出ております。人員不足もありただでさえ交通業界が辛い状況に置かれています。使わなかったら交通が止まってしまう、あるいは無くなってしまうということが現在如実に表れておりまして、本当に身近な話に繋がっていくことを危惧しております。

公共交通というのは、乗っていただかないと成り立たないというものでして、人が乗らなければ乗らないほど税金が投入されるということになりますから、どこまでを行政としてやっていくのか、後のところはどこが担うのか、それをこの会で話していただくのは非常に素晴らしいと思っています。これから先公共交通も非常に難しい時代を迎えてくると思いますが、皆様方にはこれから先もこの市民会議の状況に耳目を向けていただきまして、引き続き関わりを持っていただきたいと思います。本当にこれまでありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いします。

【事務局：石津バス交通係長】

以上をもちまして、令和元年度第3回松江市公共交通利用促進市民会議を閉会いたします。